



2025年 新春



施設長 池辺健二

新年あけましておめでとうございます。

新年明ましておめでとうございます。昨年は、世界中がこの先どうなっていくのだろうと強い不安を感じさせる年でした。今年は身近な地域の生活だけでも平穏であってくれればと願っています。かわぐちナーシングホームは昨年12月に経営が、医療法人徳洲会に変わりました。施設の運営自体は以前と変更はありません。宜しくご理解のほど申し上げます。今年は蛇年ですが、もう都会の自然の中で蛇を見かけることはほとんど無くなってしまいました。数年前施設前の外環道脇の並木の幹を、蛇が昇っているのを見ました。(写真1)その時は理由が分かりませんでした。翌年の春、その木の高い所に鳥が巣を造っているのを見て、都会の蛇も大変だなあ、鳥も大変だなあ、と思いました。また随分前のことですが、施設のデイケア脇のブロックに白い長い生き物がとぐろを巻いているのを見ました。(写真2)その時は蛇の子供かなあと思いましたが、大雨の日の翌朝、施設入り口の坂道にすごく長い白い生き物が3本位、道を横断しているのを見ました。インターネットで調べたところコウガイ(笄)ビルという、プラナリアの仲間だと分かりました。その後、すこし小さめでしたが、芝川脇の遊歩道でもコウガイビルを見ました。(写真3)昨年、東浦和の通船掘の側道で畑から堀の方へ舗装道を横断する蛇を見かけました。(写真4)私は蛇が怖いのですが小さい蛇だったので近くに寄って写真を撮りました。写真をスマホで撮るのは、用意に時間がかかるのですぐ逃げてしまう生き物は撮れません。



写真5は二匹のテントウムシが重なっている写真、写真6は寒椿の花の中に入っていた昆虫です。畑と畑の間の舗装された道では、夜の大雨の後、道路を横断しきれない大量のミミズが死んでいるのを見ることがありました。(写真7)最後に蜘蛛の写真、(写真8、9)写真9は通船掘りの道路を挟んで、多数の蜘蛛の集団が繋がった巣を形成していました。蜘蛛も生き延びるために集団で狩りをする事になったのか？



話は変わりますが、ギリシャ神話の神々のなかにアスクレピオスという神がいて、その手に持った杖に蛇が巻き付いています。アスクレピオスの杖と呼ばれ、医術の象徴として世界的に広く用いられています。世界保健機構(WHO)のシンボルマークに使用されています。今年は良い蛇に出会いたいものです。

巳年の一年皆様の御多幸をお祈り申し上げます。



総師長 佐藤 朋子

新年明ましておめでとうございます。旧年中はご利用者様、ご家族様からのご支援、ご協力を賜り無事に新年を迎える事が出来ました。心よりお礼申し上げます。かわぐちナーシングホームは2024年12月1日より徳洲会グループの傘下となり、今まで以上に「生命を安心して頂ける施設」「健康と生活を守る施設」を理念として実践してまいります。今だ、新型コロナウイルス特にインフルエンザウイルスは猛威をふるっております。当施設もまだまだ苦戦が続きそうですが、さいたま記念病院と連携しスタッフ一丸となって対処していく所存です。本年が皆様にとって健康で幸多き一年となります様、心より願います。本年も宜しくお願い致します。





事務長代行 星野 陽子

新年明けましておめでとうございます。

昨年 12 月 1 日より運営母体が医療法人徳洲会になり新たな年を迎えました。不安に思われることもあったかと思いますが、皆様には変わらず当施設にご支援・ご協力いただき感謝申し上げます。

医療法人徳洲会は「生命だけは平等だ」という理念を掲げ「いつでもどこでも誰もが最善の医療を受けられる社会の実現」を目指しています。徳洲会グループは「患者様・利用者様のために」を優先する職員たちの集まりです。今まで同様、職員一同、利用者様の毎日がぬくもりと安心と笑顔で満ちたものになるように、良いサービスを提供していきます。日々に彩を添えるイベントやレクリエーションもご期待ください。「勇往邁進」様々な環境や変化に時にくじけそうになることがあります、勇気をもって自分やチームの目的・目標に向かって突き進む。皆様にも力強く前進の 1 年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



リハビリ課 課長 脇本 忠春

新年明けましておめでとうございます。

世の中的には、コロナウィルスの報道は減り、若い人たちを中心に、コロナ前の生活にほぼ戻っていると思いますが、高齢者に関しては、以前として重症化のリスクが高く、この冬も危機感を持って過ごす必要があります。

ただ、今シーズンは、コロナ以外にもインフルエンザやマイコプラズマ、通常の感冒症状などが流行しており、その判別が難しくなっています。又、以前とは異なり体調を崩しても、コロナに関する検査や治療を受けない方が多くなり、この事がより判別を難しいものにしています。

当施設は、高齢者の方々にリハビリを行い、心身機能の維持向上を図る為の場所ですが、ひとたび施設内で感染者が数多く発生すると、部屋移動やレクなどの活動が制限を受け、運動量活動量が大きく低下してしまいます。

このような事にならないよう、職員も出来る限りの感染予防策を講じて対応していますが、ご家族様におかれましても、面会などの際には、マスク・手洗い・消毒などの協力をお願い致します。

年明けからいきなりのお願い事で恐縮ですが、少しでも機能維持を図る為のリハビリが円滑に出来るようにとの思いからですのでご了承ください。

リハビリ課では今年も、入通所されているすべての利用者様に対し、少しでも

現在の生活がより良いものとなるようリハビリテーションを行っていきたく思います。

本年もよろしくお願ひいたします。



介護課 課長 倉持 正子

新年あけましておめでとうございます。

昨年はクラブ活動・御家族様の面会も制限が少し改善され、利用者様も御家族とゆっくり会話できたり好きなクラブ活動に参加出来たりと環境が変わり、表情も活気が見られる様になった年でした。介護をしている私達も元気づけられる一年を過ごすことが出来ました。私が一番びっくりしたのは片麻痺の方がクラブ活動に参加され、積極的に作品作りをして小さなクッションを完成させたことです。涙が出るほど嬉しく思った事が印象に残っています。まだまだ感染者のリスクはありますが今年は利用者様と一緒に何が出来るか検討中です。また、面会の際はスタッフにひと言お声かけ下さり何でも気軽に聞いて頂ければ嬉しく思います。

御家族様におかれましてもお体に気を付け良いお年でありますよう心よりお祈りし新年の御挨拶とさせていただきます。

日々ので・き・ご・と

新年あけましておめでとうございます。

1 年間を振り返ってみるととにかく変動の一年だったと思います。猛威を振るった新型コロナウィルスは5類に移行しました。施設側は面会をどのように形で再開するかを何度も何度も話し合い、結果、時間制限ありの窓越し面会、対面面会を設けました。もちろん万が一の感染対応もしっかり備えたうえで徐々に面会が緩和されていきました。現在もフロア内の消毒、1日2回の検温は実施中です。面会がフリーになり本来の形に戻りご家族様、利用者様、そして私たちスタッフもとても喜んでいきます。

施設全体でのクラブ等も再開し、折り紙クラブ・音楽クラブ・娯楽クラブ・書道クラブ・手芸クラブがあります。この中でも音楽クラブはほぼ全員参加しております。また昨年から新しく始まった娯楽クラブもあります。内容は将棋、かるた、トランプ、麻雀とその時の気分で各々参加していただくスタイルです。音楽クラブは断トツ1番人気です！私たち3階ユニットでは「季節感を味わっていただく」をテーマに企画を立てています。昨年の敬老の



日は（もち米がなかったので）軟らかめに炊いたご飯でおはぎ、川越のさつまいもを1箱購入しサツマイモチップ、芋ご飯、ポテトサラダを作ったり、頂いた柿をたくさん剥いて食べました。とても甘くておいしかったです。冬至にはゆずをたくさん湯船に浮かべ、クリスマスにはプレゼントとケーキ、シャンメリーで乾杯もしました。このように賑やかに楽しく過ごしました。引き続き「食」を通して季節感を味わって頂き小さな幸せを提供していきます。3階ユニット今年も明るい介護継続していきます！今年もよろしくお祈りします。（3Fユニット：長谷川）



ナーシング新聞の読者の皆様、こんにちは。今回から各階の職員も新聞記事を書くことになりました。よろしくお願いいたします。世間ではコロナが5類対応となり、他の施設でも面会、レクリエーションがコロナ前と同様の対応になってきています。2階多床は令和6年の半ばくらいから少しずつレクリエーションを再開しました。掲載した写真は12月に行ったクリスマス会です。職員が利用者様へのクリスマスプレゼントを用意しプレゼントさせていただきました。今年からフロアでもレクリエーション再開しましたが、ちょっとした催し物でも利用者様がすごく喜んで下さいます。そんな様子を見ていたら改めて、少しでも利用者様が楽しく施設で生活できるようにしたいと実感



しました。これからも施設での感染対策を行い、利用者様が喜んでくださるレクリエーションを考え実施していきたいと思っております。

（2階多床：君島）

◇ 編集後記 ◇

皆様のおかげをもちまして新しい年を迎える事が出来ました。最近ではインフルエンザ・新型コロナウイルスと蔓延の傾向が伝えられております。当施設でも感染対策を十分に行っております。皆様も十分にお気を付け下さい。

さて、昨年12月に経営法人が替わりましたが、体制は変わりなく運営させて頂いております。職員一同初心に戻って新たな一歩を踏み出しています。

より心地よい環境を作れるように努めてまいりたいと思っておりますので、今後ともご指導宜しくお祈り致します。

令和7年1月発行 発行所：かわぐちナーシングホーム 広報委員会

